

TOGIKAI

VOL.7

変えられる社会を、
変える側に回る。

全国各地で
地方議員を公募しています。

物価高、将来不安、結婚や出産のハードル。
これは「誰かの問題」じゃない。私たちの現実です。
政治は遠いものじゃない。生活そのものです。
当事者として、生活に届く政策をつくる。

後援会(無料)の
ご登録はこちら

会員数
500人突破!



都政レポートを折込・ポスティングしました

東京都議会議員（練馬区選出）

やまぐち はな

山口 花

はなまる
都政報告
2026
3月号

頑張る人が報われる東京へ。
頑張れない人が救われる東京へ。

練馬区の皆さま、こんにちは。2025年7月に東京都議会議員を拝命しました山口花です。現役世代の一人として、そして練馬に暮らす当事者として、都政の場で一つひとつ解決につなげていきます。対立より解決を大切に、暮らしに寄り添う都政を進めてまいります。

今後の都政運営について考える

1月から3月は、新年度予算を審議する一年で最も重要な時期です。

1月30日に東京都が発表した新年度予算案は、一般会計歳出総額が9兆6,530億円、前年度当初比5.4%増（4,950億円増）となり、過去最大規模となりました。人への投資、チルドレンファーストの強化、強靱な都市づくりを柱とし、特別会計などを含めた全会計では18兆6,850億円に達しています。「18歳の壁」対策に10億円以上の予算が計上されたことや、新たな取り組みに予算が措置されたことなど、評価できる施策も多く盛り込まれていました。どの事業にどれだけ配分され、どのように実行されるのかを丁寧に検証していく必要があります。3月からは各委員会では本格的な予算審議が始まり、都と区が連携しながら現場の実態に即した運用となるよう、議論を深めていきます。予算の規模が過去最大だからこそ、その執行の中身を丁寧に点検することが、都議会の重要な役割だと考えています。

「誰にも言えない SOS」を拾うために

昨年10月30日の厚生委員会では、福祉局の事務事業質疑が行われました。私が取り上げたテーマより一部を抜粋・要約してお伝えいたします

障がい児・者支援の「18歳の壁」

障がい福祉は、18歳を境に児童福祉法 → 障害者総合支援法へと支援制度が切り替わります。その結果、特別支援学校を卒業したあと、「夕方に過ごす居場所がなくなる」ケースがきかれます。

今回、都が財政面・制度面で後押しする方向性を示しましたが、これは大きな一歩であると感じました。さらに私は、所得制限の問題も取り上げました。物価・家賃・教育費が高い東京では、「わずかに基準を超えた」だけで、支援から外れてしまう場合があります。障がい福祉は、“本人だけの支援”ではありません。夕方の居場所があると、親は仕事を辞めずに済む。家計も生活も守られる。障がい福祉は、現役世代の就労と家計を支える社会インフラです。



東京都の施策

（※答弁より抜粋・要約）

区市町村が取り組む余暇活動支援を、包括補助事業で支援
調査結果を国に示し、必要な財源の確保を提案
地域の実情に合わせた居場所づくりを引き続き支援

速報

練馬区内のNPO法人「More Time ねりま」や「旭出学園」でも視察を行い、都議会でも様々に取り上げた「18歳の壁」対策が、10億円規模で新規予算化される見込みとなりました。あわせて、これまで訴え続けてきた「自殺対策をカウンセリングや広報で終わらせず、必要に応じて医療につなぐ仕組み」についても、その具体化を含めて予算化が検討されています。これらの予算は2月18日より開会中の都議会第1回定例会にて議論されています。

都政レポートの折込・ポスティングを実施し、多くの方から反響をいただきました。日々の活動を丁寧に届けることの重要性を改めて感じるとともに、いただいた声の一つひとつが次の取り組みの原動力になっています。実際にお会いして直接ご意見を伺う機会も増え、地域の課題や関心の高さを肌で感じています。期待を裏切らないよう、引き続き現場に根ざした活動に全力で取り組んでまいります。

4月の東京都議会



- ・3月27日に令和8年第一回定例会が閉会し、令和8年度当初予算案や関連議案の審議が終えられた。
- ・第一回定例会で成立した予算に基づき、各局では新年度事業の執行が始まった。
- ・議会活動としては、成立した予算や各施策が現場でどう運用されるかを確認する期間となった。
- ・次回の令和8年第二回定例会は6月に予定されており、新年度事業の進捗や都政課題について改めて議論される。



はなまる 都政報告



3月に第一回定例会が閉会し、令和8年度予算が成立しました。議会としての大きな節目は一区切りを迎えましたが、都政の取り組みはここからが本番です。4月は本会議や委員会の開会はないものの、成立した予算に基づく事業が順次動き出す時期でもあり、その中身を改めて確認し現場でどのように機能していくのかを見ていく重要な期間となりました。予算の議論を経て見えてきた課題を踏まえ、制度の理解を深めながら次の議論に向けた準備を進めています。

こうした中、厚生委員会で北海道に視察に行き、福祉・医療・生活分野における先進的な取り組みや現場の課題について調査を行いました。北海道庁では、全国でも先進的に制定されたケアラー条例についてお話を伺い、ヤングケアラーに限らず、ビジネスケアラーやダブルケアラーなど多様化するケアの担い手をどう支えるかという視点

の重要性を改めて認識しました。制度として整備するだけでなく、認知や理解を社会全体に広げていくことの難しさとも必要性についても、実務を担う方々との意見交換を通じて実感しました。また、障がい児・者福祉の現場では、当事者や家族の想いが制度を先導してきた実践に触れました。行政の制度が整う前から、当事者同士が支え合いながら環境をつくってきた歴史があり、その積み重ねが今の支援につながっていることを目の当たりにしました。東京にそのまま当てはめることは難しい側面もありますが、当事者を孤立させない仕組みをどうつくるかという点は、引き続き取り組むべき重要なテーマです。さらに、動物愛護管理の現場も視察し、「命を守る」という観点をどのように行政として具体化していくかについて考える機会となりました。

東京都においても、動物愛護と管理の両面から、より実効性ある取り組みが求められていると感じました。

制度があることではなく、それが実際に機能しているか、必要な人に届いているかという視点を持ち続けながら、引き続き現場と都政をつなぐ役割を果たしていきたいと考えています。



ipad修理のため遅延...。今更だが4月号でっ



ようやくiPadが戻って来て急いでこれを作成してる
ですが、いつも使っていたペン達が「アプデ」に不設定
変なで非常に文字が書きにくく、泣いてます。ま
3月末で定例会が終わったかと思えば、練馬区長選
がやりました4月。国民民主党が推薦したおじま候補
は当選ならずでした。力及ばず申し訳ありません。今回の区長選で練馬
は12年ぶりの区長交代となります。現職区議3名と連携しながら
私に出来る付託へのお返しを少しでも積み上げていきます。
私の選挙から1年、ずいぶん選挙でした。月曜も居て色々やりっぱあ。

この2枚の写真たちは、私が4月中にふと「私の抱えているお悩みって、私だけの
ものではないのでは?」と思い立ち、地方議員や政策委員らと意見交換会を行った
時のものです。1人じゃできないことをみんなの声にして大きくして届けていく。政党がなぜ
存在するのかといふは、結局はそこにいきつくわけで、そうであるなら、現場で
動く地方議員や政策委員は孤島立ない方がいい。とりわけ同世代は、政治の
世界で見てもまだまじり少ない。繋がりをっておくと、何かある時に相談できる人や場所があるだけで、もの良い



政治活動につながるのではないかと。年々迫る統一地方選を前に
“数と質”を同時に求めていくことが必要だし、私とさらに多くの人たちに学んで
いかねばいけないですね。リアルなコミュニケーションに勝るものナシ!



非常に文字が小さくて可なり。今回。ここまで書いて「字ちゃん!!」と
なりまわ。4月ほその他にも厚生委員会の視察や、予算成立を
受けての各団体等との意見交換、3月のRetlacQ出演から解禁された(した)
メディア出演など新しい出会いを多い1か月でした。練馬でも入学式が行われ、
春の残酷なほどの“新しい”には喜びやワクワクと同時に少しの不安も感じられ。

“自分のペースで”や“自分らしく”という言葉は4月に食らうには
少し無責任なせりや。温かくなってきたし、全部春のせいにして、
なんとか生きていきたいと思います。そういえば 今月から月2本くらい、
YouTubeをちゃんと更新します。登録まじりの人は確実に!!
コメントは返します♡ というので、5月も頑張りましょう!!

